

東京藝術大学学長選考基準
—学長に求められる資質・能力—

令和3年4月1日
制 定

東京藝術大学は、我が国唯一の国立総合芸術大学として世界最高水準の教育研究活動の実践により、芸術文化の継承・発展を牽引する使命を果たすべく、学長には以下の資質、能力が求められる。

【芸術に対する深い理解、人格、学識及び実践・推進力】

芸術に対して深い理解を持ち、人格が高潔で、学識が優れ、かつ、国際水準の教育研究活動を適切かつ効果的に実践し、推進する能力を有すること。

【明確なビジョン、リーダーシップ・牽引力・マネジメント能力】

世界最高峰の総合芸術大学として在るべき将来像について明確なビジョンを提示し、強いリーダーシップと、構成員の信頼をもって組織を牽引し、目標の達成のためのマネジメント能力が高いこと。

【人財育成の能力】

学生に対して深い愛情を注ぎ、個性を尊重しつつ、未来の可能性を見い出していくとともに、教職員に対しては、その意欲と能力を最大限に引き出していく優れた指導力や人財育成を戦略的に進める能力を有すること。

【人徳、コミュニケーション能力、発信力】

国内外の関係諸機関等との確かな信頼関係・ネットワーク基盤を構築できる人徳、コミュニケーション能力を有するとともに、大学の存在感を高めるための強力な発信力を有すること。

【芸術文化の継承・発展に係る先導力・発言力】

国内外の諸情勢を踏まえつつ、我が国における芸術文化の継承・発展・創造を先導し、国に対しても必要な発言力を有するとともに、広く国際社会において、芸術文化の持続的発展に貢献する高い志を有すること。

【社会の要請や変化に対応できる力】

SDGsの目標達成やSTEAM教育の推進などの社会の要請及びニューノーマル時代の到来や将来の予測が困難な社会の変化に速やかに対応し、先見性も持ち、大学の力を継続的に発展できる能力のあること。